

表2-2 後縦靭帯骨化症患者の日常生活動作における制約および知覚異常がある者の割合

	64歳以下		65歳以上		全年齢	
	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)
9-1 歩行：「できない」者の割合	15 / 571	(2.6)	15 / 536	(2.8)	30 / 1,107	(2.7)
歩行：歩行できるが「平地でも杖または支持を必要とする」者の割合	55 / 571	(9.6)	117 / 536	(21.8)	172 / 1,107	(15.5)
9-2 階段の昇り：「全くできない」者の割合	24 / 594	(4.0)	46 / 562	(8.2)	70 / 1,156	(6.1)
階段の昇り：「できるが、介助か補助具を必要とする」者の割合	105 / 594	(17.7)	157 / 562	(27.9)	262 / 1,156	(22.7)
9-3 階段の下り：「全くできない」者の割合	25 / 593	(4.2)	49 / 562	(8.7)	74 / 1,155	(6.4)
階段の下り：「できるが、介助か補助具を必要とする」者の割合	126 / 593	(21.2)	182 / 562	(32.4)	308 / 1,155	(26.7)
10-1 首を上に向ける（うがいなど）：「難しい、または、できない」者の割合	224 / 592	(37.8)	235 / 564	(41.7)	459 / 1,156	(39.7)
首を上に向ける（うがいなど）：上記のうち、「できない」者の割合	47 / 592	(7.9)	51 / 564	(9.0)	98 / 1,156	(8.5)
10-2 首を下に向ける（足もとをみるなど）：「難しい、または、できない」者の割合	161 / 594	(27.1)	155 / 557	(27.8)	316 / 1,151	(27.5)
首を下に向ける（足もとをみるなど）：上記のうち、「できない」者の割合	20 / 594	(3.4)	31 / 557	(5.6)	51 / 1,151	(4.4)
10-3 首を横に向ける（左右確認など）：「難しい、または、できない」者の割合	243 / 594	(40.9)	220 / 562	(39.1)	463 / 1,156	(40.1)
首を横に向ける（左右確認など）：上記のうち、「できない」者の割合	38 / 594	(6.4)	30 / 562	(5.3)	68 / 1,156	(5.9)
11-1 上肢や手指の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合	209 / 592	(35.3)	233 / 562	(41.5)	442 / 1,154	(38.3)
11-2 下肢や足趾の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合	234 / 591	(39.6)	241 / 560	(43.0)	475 / 1,151	(41.3)
11-3 腹部や躯幹（胴体）の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合	97 / 591	(16.4)	79 / 555	(14.2)	176 / 1,146	(15.4)
11-4 肩の知覚異常（しびれ感など）や肩こり：「常を感じる」者の割合	233 / 592	(39.4)	205 / 561	(36.5)	438 / 1,153	(38.0)
11-5 背部の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合	170 / 588	(28.9)	132 / 558	(23.7)	302 / 1,146	(26.4)

(53.2%)、中等度は207名(24.8%)、重症は184名(22.0%)であった。JOAスコア推定値は軽症、中等度、重症の順に14.3点、10.0点、6.4点であった。重症度別の平均年齢(標準偏差)は、軽症が61.0(9.5)

歳、中等度が64.1(9.3)歳、重症が65.1(8.5)歳であった(表1)。年齢層別に重症度の分布をみると、64歳以下(460名)では軽症が275名(59.8%)、中等度が101名(22.0%)、重症が84名(18.3%)で

表3-1 後縦靭帯骨化症患者の重症度別、年齢層別にみた日常生活動作における制約がある者の割合

	64歳以下		65歳以上		全年齢	
	該当数 / 有効回答数 (%)	該当数 / 有効回答数 (%)	該当数 / 有効回答数 (%)	該当数 / 有効回答数 (%)	該当数 / 有効回答数 (%)	該当数 / 有効回答数 (%)
1 外出：「ほとんどしない」者の割合						
軽症	8 / 274 (2.9)	21 / 169 (12.4)	29 / 443 (6.5)			
中等度	10 / 101 (9.9)	20 / 106 (18.9)	30 / 207 (14.5)			
重症	32 / 83 (38.6)	27 / 97 (27.8)	59 / 180 (32.8)			
計	50 / 458 (10.9)	68 / 372 (18.3)	118 / 830 (14.2)			
2 食事：「スプーンは可能であるが箸は使用できない」または「介助を要する」者の割合						
軽症	0 / 275 (0.0)	0 / 170 (0.0)	0 / 445 (0.0)			
中等度	1 / 101 (1.0)	5 / 106 (4.7)	6 / 207 (2.9)			
重症	17 / 84 (20.2)	19 / 100 (19.0)	36 / 184 (19.6)			
計	18 / 460 (3.9)	24 / 376 (6.4)	42 / 836 (5.0)			
3 ベッドやふとんへの移動、起きあがり、椅子への上がり降り動作：「介助を要する」者の割合						
軽症	0 / 271 (0.0)	1 / 170 (0.6)	1 / 441 (0.2)			
中等度	2 / 101 (2.0)	1 / 105 (1.0)	3 / 206 (1.5)			
重症	13 / 83 (15.7)	10 [*] / 100 (10.0)	23 / 183 (12.6)			
		*10名のうち、寝たきり2名を含む				
計	15 / 455 (3.3)	12 / 375 (3.2)	27 / 830 (3.3)			
4 整容：「部分的または全面介助を要する」者の割合						
軽症	1 / 274 (0.4)	2 / 170 (1.2)	3 / 444 (0.7)			
中等度	3 / 101 (3.0)	11 / 106 (10.4)	14 / 207 (6.8)			
重症	25 / 84 (29.8)	29 / 100 (29.0)	54 / 184 (29.3)			
計	29 / 459 (6.3)	42 / 376 (11.2)	71 / 835 (8.5)			
5-1 入浴（浴槽に入る）：「部分的または全面介助を要する」者の割合						
軽症	4 / 275 (1.5)	4 / 170 (2.4)	8 / 445 (1.8)			
中等度	6 / 101 (5.9)	17 / 105 (16.2)	23 / 206 (11.2)			
重症	34 / 84 (40.5)	44 / 100 (44.0)	78 / 184 (42.4)			
計	44 / 460 (9.6)	65 / 375 (17.3)	109 / 835 (13.1)			
5-2 入浴（体を洗う）：「部分的または全面介助を要する」者の割合						
軽症	8 / 275 (2.9)	10 / 170 (5.9)	18 / 445 (4.0)			
中等度	14 / 101 (13.9)	23 / 105 (21.9)	37 / 206 (18.0)			
重症	40 / 84 (47.6)	57 / 100 (57.0)	97 / 184 (52.7)			
計	62 / 460 (13.5)	90 / 375 (24.0)	152 / 835 (18.2)			

あるのに対し、65歳以上(376名)では、軽症が170名(45.2%)、中等度が106名(28.2%)、重症が100名(26.6%)であり、65歳以上の高齢群では重症例が多かった。

表2-1～2に後縦靭帯骨化症患者の日常生活動作における制約および知覚異常がある者の割合を示した。日常生活で制約のある者の割合は、外出は15.1%、食事は5.5%、起床は5.1%、整容は9.9%、

入浴（体を洗う）は19.5%、更衣（衣服の着脱）は18.1%、排泄（トイレに行く）は6.8%、坐位（両足を前に出して坐る）は12.9%、歩行は2.7%、首の動き（上に向ける）は39.7%、知覚異常（上肢、手指）者は38.3%であった。重症度別、年齢層別の分析結果は、日常生活動作における制約については表3-1～5に、知覚異常については表4に示した。重症例において、過半数の者が制約をうけている動作は、若

表3-2 後縦靭帯骨化症患者の重症度別、年齢層別にみた日常生活動作における制約がある者の割合

	64歳以下		65歳以上		全年齢	
	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)
6-1 更衣（衣服の着脱）：「部分的または全面介助を要する」者の割合						
軽症	9 / 275	(3.3)	9 / 169	(5.3)	18 / 444	(4.1)
中等度	12 / 101	(11.9)	23 / 105	(21.9)	35 / 206	(17.0)
重症	35 / 84	(41.7)	53 / 100	(53.0)	88 / 184	(47.8)
計	56 / 460	(12.2)	85 / 374	(22.7)	141 / 834	(16.9)
6-2 更衣（靴下をはく、靴ひも結び、フアスナー留め、装具の着脱）：「部分的または全面介助を要する」者の割合						
軽症	10 / 275	(3.6)	12 / 169	(7.1)	22 / 444	(5.0)
中等度	18 / 101	(17.8)	27 / 105	(25.7)	45 / 206	(21.8)
重症	45 / 83	(54.2)	59 / 99	(59.6)	104 / 182	(57.1)
計	73 / 459	(15.9)	98 / 373	(26.3)	171 / 832	(20.6)
7-1 トイレに行く：「部分的または全面介助を要する」者の割合						
軽症	2 / 275	(0.7)	0 / 169	(0.0)	2 / 444	(0.5)
中等度	2 / 101	(2.0)	6 / 105	(5.7)	8 / 206	(3.9)
重症	20 / 84	(23.8)	17 / 100	(17.0)	37 / 184	(20.1)
計	24 / 460	(5.2)	23 / 374	(6.1)	47 / 834	(5.6)
7-2 排尿（頻尿または排尿開始までに時間がかかる）：「常にある」者の割合						
軽症	3 / 275	(1.1)	9 / 170	(5.3)	12 / 445	(2.7)
中等度	11 / 100	(11.0)	13 / 106	(12.3)	24 / 206	(11.7)
重症	24 / 82	(29.3)	28 / 99	(28.3)	52 / 181	(28.7)
計	38 / 457	(8.3)	50 / 375	(13.3)	88 / 832	(10.6)
7-3 排尿（残尿感）：「常にある」者の割合						
軽症	4 / 275	(1.5)	6 / 170	(3.5)	10 / 445	(2.2)
中等度	6 / 101	(5.9)	11 / 106	(10.4)	17 / 207	(8.2)
重症	18 / 83	(21.7)	19 / 99	(19.2)	37 / 182	(20.3)
計	28 / 459	(6.1)	36 / 375	(9.6)	64 / 834	(7.7)
7-4 尿失禁：「時々または常にある」者の割合						
軽症	19 / 275	(6.9)	9 / 170	(5.3)	28 / 445	(6.3)
中等度	29 / 101	(28.7)	33 / 106	(31.1)	62 / 207	(30.0)
重症	38 / 84	(45.2)	43 / 100	(43.0)	81 / 184	(44.0)
計	86 / 460	(18.7)	85 / 376	(22.6)	171 / 836	(20.5)
7-5 便失禁：「時々または常にある」者の割合						
軽症	3 / 275	(1.1)	5 / 169	(3.0)	8 / 444	(1.8)
中等度	12 / 101	(11.9)	11 / 106	(10.4)	23 / 207	(11.1)
重症	32 / 84	(38.1)	31 / 100	(31.0)	63 / 184	(34.2)
計	47 / 460	(10.2)	47 / 375	(12.5)	94 / 835	(11.3)

年（64歳以下）群では6-2更衣（靴下をはく、靴ひも結び、フアスナー留め、装具の着脱）、8-1正座、8-3横座り、9-6階段の下りなどの動作であり、高齢

（65歳以上）群ではこれらの動作に加えて5-1入浴（体を洗う）、6-1更衣（衣服の着脱）などの動作があった。首の動き（10-1～3）は、重症例（全年齢）

表3-3 後縦靭帯骨化症患者の重症度別、年齢層別にみた日常生活動作における制約がある者の割合

	64歳以下			65歳以上			全年齢		
	該当数 / 有効回答数	(%)		該当数 / 有効回答数	(%)		該当数 / 有効回答数	(%)	
8-1 正座：「できない」者の割合									
軽症	19 / 274	(6.9)		27 / 170	(15.9)		46 / 444	(10.4)	
中等度	26 / 101	(25.7)		33 / 106	(31.1)		59 / 207	(28.5)	
重症	42 / 83	(50.6)		52 / 100	(52.0)		94 / 183	(51.4)	
計	87 / 458	(19.0)		112 / 376	(29.8)		199 / 834	(23.9)	
8-2 あぐら（足を前で組む）：「できない」者の割合									
軽症	21 / 275	(7.6)		16 / 166	(9.6)		37 / 441	(8.4)	
中等度	28 / 101	(27.7)		22 / 105	(21.0)		50 / 206	(24.3)	
重症	40 / 83	(48.2)		46 / 98	(46.9)		86 / 181	(47.5)	
計	89 / 459	(19.4)		84 / 369	(22.8)		173 / 828	(20.9)	
8-3 横座り：「できない」者の割合									
軽症	22 / 275	(8.0)		26 / 167	(15.6)		48 / 442	(10.9)	
中等度	24 / 99	(24.2)		32 / 103	(31.1)		56 / 202	(27.7)	
重症	43 / 84	(51.2)		54 / 98	(55.1)		97 / 182	(53.3)	
計	89 / 458	(19.4)		112 / 368	(30.4)		201 / 826	(24.3)	
8-4 両足を前に出して座る：「できない」者の割合									
軽症	0 / 274	(0.0)		11 / 170	(6.5)		11 / 444	(2.5)	
中等度	11 / 100	(11.0)		9 / 105	(8.6)		20 / 205	(9.8)	
重症	24 / 84	(28.6)		30 / 98	(30.6)		54 / 182	(29.7)	
計	35 / 458	(7.6)		50 / 373	(13.4)		85 / 831	(10.2)	

で「できない」者は上方向が21.9%、下方向が9.8%、横方向が13.7%であったが、「難しい」者を加算すると、上方向では60.7%、下方向が48.1%、横方向では57.9%の者に動作の制約がみられた。知覚異常（11-1～5）を訴える者の割合は、重症例（全年齢）では、下肢や足趾（85.9%）、上肢や手指（77.2%）、肩（54.9%）、背部（49.5%）、腹部や躯幹（39.7%）の順に多かった。

アンケートの自由記入欄への記入は、283件であった。これらの記載内容は、1.公費負担、福祉対策など（35件）、2.病気に対する不安など（13件）、3.原因解明、病気や症状についての情報提供など（31件）、4.医療、治療など（29件）、5.患者会など（16件）、6.病状経過など（20件）、7.現在の病状など（55件）、8.生活状況など（19件）、9.その他（14件）、10.アンケートに関して（51件）であった。表5に具体的な記載内容（ただし、記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定が可能となる表現の箇所は

除外）を示した。

D. 考察

後縦靭帯骨化症患者の在宅での日常生活における制約は、加齢の影響と相まって疾病が重症化するほど頻度が多くなることが示唆された。

札幌市高齢者生活実態調査報告書²⁾〔対象は平成10年6月1日現在、札幌市に住民登録をしている65歳以上の高齢者の中から10%を無作為抽出し、15,174件（回収率66.0%）の有効回答にもとづく調査報告〕によると、一般集団の在宅高齢者（65歳以上）の日常生活動作で「自分でやるとかなり時間がかかるまたは手助けが必要である」者の割合は、歩行が5.2%、入浴が4.0%、食事が1.3%、排泄が1.3%、整容が2.2%と報告されている。これに対し、後縦靭帯骨化症患者（65歳以上）で「部分的または全面介助を要する」者の割合は、歩行が2.8%（できない）～21.8%（杖または支持を必要とする）、入浴

表3-4 後縦靭帯骨化症患者の重症度別、年齢層別にみた日常生活動作における制約がある者の割合

	64歳以下		65歳以上		全年齢	
	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)
9-1 歩行：「できない」者の割合						
軽症	0 / 275	(0.0)	0 / 170	(0.0)	0 / 445	(0.0)
中等度	2 / 96	(2.1)	1 / 104	(1.0)	3 / 200	(1.5)
重症	7 / 79	(8.9)	8 / 83	(9.6)	15 / 162	(9.3)
計	9 / 450	(2.0)	9 / 357	(2.5)	18 / 807	(2.2)
歩行：歩行できるが「平地でも杖または支持を必要とする」者の割合						
軽症	2 / 275	(0.7)	9 / 170	(5.3)	11 / 445	(2.5)
中等度	11 / 96	(11.5)	21 / 104	(20.2)	32 / 200	(16.0)
重症	29 / 79	(36.7)	40 / 83	(48.2)	69 / 162	(42.6)
計	42 / 450	(9.3)	70 / 357	(19.6)	112 / 807	(13.9)
9-2 階段の昇り：「全くできない」者の割合						
軽症	0 / 275	(0.0)	0 / 170	(0.0)	0 / 445	(0.0)
中等度	2 / 101	(2.0)	8 / 105	(7.6)	10 / 206	(4.9)
重症	12 / 84	(14.3)	22 / 99	(22.2)	34 / 183	(18.6)
計	14 / 460	(3.0)	30 / 374	(8.0)	44 / 834	(5.3)
階段の昇り：「できるが、介助か補助具を必要とする」者の割合						
軽症	9 / 275	(3.3)	15 / 170	(8.8)	24 / 445	(5.4)
中等度	25 / 101	(24.8)	28 / 105	(26.7)	53 / 206	(25.7)
重症	41 / 84	(48.8)	49 / 99	(49.5)	90 / 183	(49.2)
計	75 / 460	(16.3)	92 / 374	(24.6)	167 / 834	(20.0)
9-3 階段の下り：「全くできない」者の割合						
軽症	0 / 274	(0.0)	0 / 170	(0.0)	0 / 444	(0.0)
中等度	3 / 101	(3.0)	8 / 105	(7.6)	11 / 206	(5.3)
重症	12 / 84	(14.3)	24 / 99	(24.2)	36 / 183	(19.7)
計	15 / 459	(3.3)	32 / 374	(8.6)	47 / 833	(5.6)
階段の下り：「できるが、介助か補助具を必要とする」者の割合						
軽症	17 / 274	(6.2)	25 / 170	(14.7)	42 / 444	(9.5)
中等度	30 / 101	(29.7)	32 / 105	(30.5)	62 / 206	(30.1)
重症	45 / 84	(53.6)	54 / 99	(54.5)	99 / 183	(54.1)
計	92 / 459	(20.0)	111 / 374	(29.7)	203 / 833	(24.4)

(体を洗う)が24.1%，食事が7.1%，排泄が7.1%，整容が12.0%であった。いずれの動作においても、後縦靭帯骨化症患者では、日常動作の制約をうけている者の割合が一般集団の在宅高齢者よりも多く、特に入浴動作が困難であることが示唆された。

階段の昇降動作で、「介助か補助具を必要とする」者の割合（重症例，全年齢）は、昇りは49.2%であるのに対し、下りは54.1%であり、階段の下りの動

作は昇りの動作にくらべて制約が大きかった。このことは、表5の自由記入欄記載内容No.16でも記述されているように、今後の福祉対策に反映すべき点と思われる。また、特定疾患の認定手続き方法や患者会組織に関するわかりやすい情報提供も今後考慮すべき点としてあげられよう。なお、アンケートに関する記載内容で、設問内容が本疾病に適していない、わかりにくいというご意見があったが、調査内

表3-5 後縦靭帯骨化症患者の重症度別、年齢層別にみた日常生活動作における制約がある者の割合

	64歳以下			65歳以上			全年齢		
	該当数 / 有効 回答数	(%)		該当数 / 有効 回答数	(%)		該当数 / 有効 回答数	(%)	
10-1 首を上に向ける（うがいなど）：「難しい、または、できない」者の割合									
軽症	66 / 274	(24.1)		46 / 169	(27.2)		112 / 443	(25.3)	
中等度	42 / 101	(41.6)		47 / 105	(44.8)		89 / 206	(43.2)	
重症	53 / 83	(63.9)		58 / 100	(58.0)		111 / 183	(60.7)	
計	161 / 458	(35.2)		151 / 374	(40.4)		312 / 832	(37.5)	
首を上に向ける（うがいなど）：上記のうち、「できない」者の割合									
軽症	9 / 274	(3.3)		7 / 169	(4.1)		16 / 443	(3.6)	
中等度	10 / 101	(9.9)		4 / 105	(3.8)		14 / 206	(6.8)	
重症	16 / 83	(19.3)		24 / 100	(24.0)		40 / 183	(21.9)	
計	35 / 458	(7.6)		35 / 374	(9.4)		70 / 832	(8.4)	
10-2 首を下に向ける（うがいなど）：「難しい、または、できない」者の割合									
軽症	43 / 274	(15.7)		25 / 167	(15.0)		68 / 441	(15.4)	
中等度	28 / 101	(27.7)		24 / 104	(23.1)		52 / 205	(25.4)	
重症	43 / 84	(51.2)		45 / 99	(45.5)		88 / 183	(48.1)	
計	114 / 459	(24.8)		94 / 370	(25.4)		208 / 829	(25.1)	
首を下に向ける（うがいなど）：上記のうち、「できない」者の割合									
軽症	3 / 274	(1.1)		4 / 167	(2.4)		7 / 441	(1.6)	
中等度	2 / 101	(2.0)		2 / 104	(1.9)		4 / 205	(2.0)	
重症	5 / 84	(6.0)		13 / 99	(13.1)		18 / 183	(9.8)	
計	10 / 459	(2.2)		19 / 370	(5.1)		29 / 829	(3.5)	
10-3 首を横に向ける（うがいなど）：「難しい、または、できない」者の割合									
軽症	71 / 274	(25.9)		46 / 170	(27.1)		117 / 444	(26.4)	
中等度	50 / 101	(49.5)		36 / 104	(34.6)		86 / 205	(42.0)	
重症	55 / 83	(66.3)		51 / 100	(51.0)		106 / 183	(57.9)	
計	176 / 458	(38.4)		133 / 374	(35.6)		309 / 832	(37.1)	
首を横に向ける（うがいなど）：上記のうち、「できない」者の割合									
軽症	6 / 274	(2.2)		0 / 170	(0.0)		6 / 444	(1.4)	
中等度	8 / 101	(7.9)		4 / 104	(3.8)		12 / 205	(5.9)	
重症	12 / 83	(14.5)		13 / 100	(13.0)		25 / 183	(13.7)	
計	26 / 458	(5.7)		17 / 374	(4.5)		43 / 832	(5.2)	

容の一部はSF-363) の設問項目に準拠しており、やむを得ない。また、前回（平成9—10年度実施）のアンケート結果のフィードバックについては、回収された段階で患者個人の同定は困難となっているが、フィードバック希望者（選択肢に回答がなかったものは希望しないものとして扱った）には全体の集計結果を郵送した。今回（平成12年度調査）の調査については、調査票の回答が得られた全対象者に対して本報告書内容の概要をフィードバックする予

定である。

E. 結論

平成12年度に本研究班の班員が所属する施設または関連病院に受診した後縦靭帯骨化症患者1,420名を対象に実施した郵送法による自記式調査の回答(1,166名分)に基づいて、後縦靭帯骨化症患者の在宅での日常生活における制約の実態と、患者がかかえる種々の問題点について明らかにした。特に、後

表4 後縦靭帯骨化症患者の重症度別、年齢層別にみた知覚異常がある者の割合

	64歳以下		65歳以上		全年齢	
	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)	該当数 / 有効回答数	(%)
11-1 上肢や手指の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合						
軽症	50 / 275	(18.2)	18 / 170	(10.6)	68 / 445	(15.3)
中等度	41 / 101	(40.6)	47 / 106	(44.3)	88 / 207	(42.5)
重症	59 / 84	(70.2)	83 / 100	(83.0)	142 / 184	(77.2)
計	150 / 460	(32.6)	148 / 376	(39.4)	298 / 836	(35.6)
11-2 下肢や足趾の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合						
軽症	41 / 275	(14.9)	23 / 170	(13.5)	64 / 445	(14.4)
中等度	59 / 101	(58.4)	47 / 106	(44.3)	106 / 207	(51.2)
重症	74 / 84	(88.1)	84 / 100	(84.0)	158 / 184	(85.9)
計	174 / 460	(37.8)	154 / 376	(41.0)	328 / 836	(39.2)
11-3 腹部や躯幹（胴体）の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合						
軽症	2 / 275	(0.7)	0 / 170	(0.0)	2 / 445	(0.4)
中等度	18 / 101	(17.8)	11 / 106	(10.4)	29 / 207	(14.0)
重症	40 / 84	(47.6)	33 / 100	(33.0)	73 / 184	(39.7)
計	60 / 460	(13.0)	44 / 376	(11.7)	104 / 836	(12.4)
11-4 肩の知覚異常（しびれ感など）や肩こり：「常を感じる」者の割合						
軽症	75 / 274	(27.4)	38 / 169	(22.5)	113 / 443	(25.5)
中等度	46 / 101	(45.5)	37 / 105	(35.2)	83 / 206	(40.3)
重症	49 / 84	(58.3)	52 / 100	(52.0)	101 / 184	(54.9)
計	170 / 459	(37.0)	127 / 374	(34.0)	297 / 833	(35.7)
11-5 背部の知覚異常（しびれ感など）：「常を感じる」者の割合						
軽症	38 / 273	(13.9)	15 / 168	(8.9)	53 / 441	(12.0)
中等度	35 / 100	(35.0)	23 / 104	(22.1)	58 / 204	(28.4)
重症	48 / 84	(57.1)	43 / 100	(43.0)	91 / 184	(49.5)
計	121 / 457	(26.5)	81 / 372	(21.8)	202 / 829	(24.4)

縦靭帯骨化症患者では、入浴や階段の下りの動作が困難であること、特定疾患の認定手続き方法や患者会組織に関するわかりやすい情報提供が必要であることが示唆された。

〔参考文献〕

- 1) 藤原奈佳子, 河合伸也, 原田征行, 他: 後縦靭帯骨化症の疫学的研究, 日常生活動作能力 (ADL) と健康関連 QOL 尺度 (SF-36) の関連および社会資源の利用状況について. 一平成 12 年度実施の調査報告一. 厚生労働省特定疾患対策研究事業, 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究班, 平成 12 年度研究報告書 2001: 157-183.

2) <http://www.city.sapporo.jp/kaigo/yoyak/top.htm>

- 3) 福原俊一, 鈴鴨よしみ, 尾藤誠司, 黒川 清: SF-36 日本語版マニュアル (Ver. 1.2). (財) パブリックヘルスリサーチセンター, 東京, 2001: 1-131.

F. 研究発表

藤原奈佳子, 他: 後縦靭帯骨化症患者の日常生活動作能力 (ADL) と健康関連 QOL 尺度 (SF-36) の関連および社会資源利用状況. THE BONE, 第 64 号 (2002 年 5 月) に掲載予定

表5-1 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同意可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)	
<1>公費負担、福祉対策などに関する内容 (35件)				
1	33歳	男	14	確かに病気による症状は少ないのですが、そのために法的な援助を受けることが出来ない 特定疾患被受給者の認定を受けられないので困っている 後遺症的なものは厳然と存在することを認めてもらいたい このことで就職すら出来ない現実となっている 何とかして欲しい 病院で受けているが認定からはずされている
2	40歳	男	16	病気になる事が自分でも多い様に思います 仕事面などにさしかえる事が多いと思います 生活面で苦しい事が多い様なので仕事にさしかえる者に対して福祉面で不満です
3	44歳	男	14	検査とその結果を聞くため2-3回通院しないと行けないので、1回で済むシステムが出来たら負担が軽くて助かると思う
4	45歳	男		求職中ですが今までのような仕事は今すぐには出来ないと思います でも生活があるので一日でも早く仕事をしたいと思っています
5	48歳	男		やはり、どうしても指圧やマッサージが必要になる事態が発生します 我々の様な病気をした人は絶対的に疲れや肩こりが一般人と違います 従って、我々の様な人に対しては一般人と違って指圧・マッサージに保険の摘要を固に望みます 入院・手術費用より事後のこの様な費用は膨大なもので負担が大きいです
6	48歳	男		難病申請は県で却下されましたが今後悪くなった場合、再度申請したら良いのか考えています
7	50歳	男	16	頸椎後縦靭帯骨化症で手術を受けたが難病認定を受けたのかはっきりしない
8	50歳	男	14	特定疾患の認定は受けていません (病院側の書類の都合によるもの)
9	50歳	女		以前みたいに医療費が負担してもらえらるものなら、病院で又、再検査をしてもらいたいです なぜなら、別の病院でちがう検査をしてもらった時、再発しているような事を言われました 自己負担では中々、お金の問題もありますので行けません
10	52歳	男	12	本当は3ヶ月に1回の診察が必要であるが仕事上困難であった
11	53歳	女		特定疾患の認定を受けるにはどこで、どの様にすればいいのですか 教えて下さい
12	55歳	男	12	難病の人のための講習会(専門医の話聞く)の案内があっても該当するものがほとんど未定で終わっている かつ再発、症状が強くなり手術が必要となるかわからない不安を抱えている 手術により離職せざるをえなくなった経験から言っても、直接の障害がなくとも収入の不安定さは限りなくあり、何らかの公的援助を受けることに対する指導、教育がされるべきだと思う
13	57歳	男	17	対応策をお願いします
14	57歳	女	10	脊椎後縦靭帯骨化症(難病認定)なのに、なぜ身体障害者手帳が交付されないのか良く理解できません
15	58歳	女	12	介護認定がよくわからない
16	59歳	女		お願い 駅のエスカレーターの上りはあるのに下りが少ないですが、私達にとっては下りのエスカレーターが必要ですので、必ず設置するよう働きかけて下さいませ
17	60歳	女		ブロック注射・痛み止め・座薬で痛みをごまかしてもらっていますが、あお向けに3時間位したら痛みで目がさめてしまい、なかなか寝つかれません 3月末に特殊ベッドを頂いて随分助かっています 歯医者さんに行きたいのですが首の痛みと経済的な理由で治療を思案している所です
18	61歳	女		特定疾患であることは知りませんでした
19	62歳	女	5	入院した方が良いと云われるけど、お金がかかるので入院出来ません 殆ど天気が悪い時は、家でシップを貼ったりして寝ています
20	63歳	男	10	無料検査を希望する
21	65歳	男	17	問49の難病健診とありますが、難病とはどのような病気かわかりません
22	67歳	男		福祉関連サービスの利用について 自力で出来ない状態が発生した場合訪問診療・ホームヘルパーの派遣等利用したいと思っています (障害を持つ子との二人世帯です)
23	67歳	女	12	私は一時、特定疾患と言う事になっていましたが先生が変わられてからその先生がこのぐらいではだめと言われて早10年になります でも首の方はやはり廻りにくいです
24	68歳	男	11	数年来、年1回(10月-11月頃)病院より受診に来るようにと通知があり受診していましたが、平成10年より連絡がなく受診していません なぜ、受診できなくなったのかわかりません 特定疾患の認定を受けているのであれば、今まで通り年1回程度の受診が続けられないのでしょうか 病状の自己管理をする上からも是非、継続的に定期検診をして頂けたらと思います
25	70歳	男		特定疾患受給者証はどこで発行しているものですか 出来ましたらお知らせ下さい
26	70歳	女	12	特定疾患医療受給者証を平成10年9月30日まで有効期間を頂いておりましたが交付年月日を過ぎて以来交付して頂いておりませんので保健所の方に手続きをすれば再交付して頂けるでしょうか 教えて頂きたく思いますので誠にお手数ですがお知らせ下さい
27	71歳	男	9	年2回受診をしているが調子が悪い時いつでもと言ってももらうが遠隔地であるため交通に階段等と主治医が度々変わるの不安がある 又近くの専門医が分からない

表5-2 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (、は欠測値があるため、算出不能例)
28	71歳	女	認定を受けているかどうか知りません もし受けていないとすればどの様にすれば良ろしいか御指導下さい お願いします
29	72歳	男	12 冬期間は老夫婦で家内も通院の身であり私も身体的に無理出来ず市の除雪車は門前に大量の雪を置いて行くので困難致しております 市の介護調査では何の対策も考えていないようです
30	72歳	男	自主的に定期診断を受けるべきですが、中々実行出来ない 手術した病院より年1回位呼び出しで遺跡診察が出来たらと思う
31	72歳	女	障害者手帳2級を持っているが、介護の認定等何んの連絡もなければ問い合わせもない 家族の介護で日常生活を送っているが、行政のあり方に疑問を感じる
32	73歳	女	入院中、県に申請していただきましたが認定されませんでした その頃は字も書けずに代筆でした
33	75歳	男	特定疾患の認定とはどのようなものか詳しく教えて下さい
34	77歳	女	11 特定疾患受給者証ですが一部負担金相当額等助成と言う証明書になりました
35	80歳	男	この制度で私は人生が長く楽しい社会であり、他の人々にも喜びが満ちると思います 先生方の非常な努力に感謝します
<2> 病気に対する不安などに関する内容 (13件)			
36	40歳	男	12 一回手術しましたが、また再発するのでしょうか
37	46歳	男	16 年齢が高くなるにつれ心配です
38	48歳	女	13 身体的な問題だけでなく様々な問題が多いので、ストレスが発散できない 子供の行事で外出が多く、思考力が低下している 病気の事が他の人、家族にわかってもらえないのがつらい
39	54歳	男	8 正常者から見れば足、手、首等は常に不自由な生活を送っている事は確かです 一日一日を不安の中で過ごしている事も確かです
40	55歳	女	14 今は唯、病気が進行しない事を願います そして生きているのがこわい気持ちです
41	57歳	男	14 まだ57才になったばかりなのでアンケートの目的に合致したかどうか、お役に立てなかったかもしれませんが、この持病を持ったまま年をとる事を思えば自分の老後が心配です
42	59歳	女	12 59才ですが、再発しないか毎日が不安で一杯です 二度の手術でもうこりこりですし、せめて明るくと気持ちを切りかえています
43	60歳	女	11 だんだんだめです
44	60歳	女	8 今後、体調の後退があるのではないかと常に不安を感じている
45	66歳	男	6 自立して一人生活する場合の不安はいつもあります
46	68歳	女	平成10年初め靭帯骨化症の手術をする予定を取りやめました (私が) 歩行難のためリハビリ入院を1年間したのですがこの頃は日増しに背中の痛みが増し胸に圧迫感があり上向きでは眠れなく横向き状態で眠る生活が続いています 脊椎靭帯骨化症のためかどうかわからず生きる事の不安、恐さを感じる
47	73歳	男	12 生活状況の調査が主と思いますが、上肢・下肢等の歩行・階段の昇り降り等の日常生活に劣感を抱くことがある (社会人の行動に不安)
48	82歳	男	高齢 (83才) のため年々病が重くなるのが心配です
<3> 原因解明、病気や症状についての情報提供などに関する内容 (31件)			
49	40歳	男	9 病気の原因解明及び薬の開発を望みます 病名がもっと早くわかれば神経異常が出なかったのではと思うと病院に対して頭にくる 27才頃診察を受けたが原因がわからなかった また同病院にて38才に再度行った時も脊椎の異常と自分で言ったのに聞いてもらえなかった
50	46歳	男	10 手先のしびれ、膝の痛み、背中・首・腰のつっぱり感人はそれぞれでしょうが、治らないのでしょうか 我慢すれば、日常のことは一通り出来るのですが?
51	47歳	男	13 病気の原因が解明できるよう、医師達に頑張ってもらいたい
52	48歳	男	16 平成7年6月頃足のしびれにより病院にて検査 (入院) しレントゲン・MRI 検査により背骨に異常が発見された 私と同じ病気を持っている人も多数いると思いますが原因を追求してもらいたいと思います
53	50歳	男	15 右足、スリッパ・サンダルが脱げても感覚ない 又右足が時々張ってくる 神経回復するかどうか知りたい
54	50歳	男	11 頸椎の3・4番目の前部が骨化しているのですが、どういう症状が出るのでしょうか? 手術して働けるのが楽しみでしたが、仕事が出来ないのが残念です
55	51歳	男	頸椎後縦靭帯骨化症の現状について教えていただきたいと思います
56	53歳	男	5 同じ障害を持っている方々がどういう日常生活を過ごしているか知りたい
57	55歳	男	17 病気の予防法が進歩するならば非常に有難いことだと思います 病気になった場合、良い方に向かえるような医療の進歩が非常に有難いと思います
58	55歳	男	7 治療方法についての問い合わせがほしかったです

表5-3 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)
59	56歳	男	10 小指(左手)の痛みが常を感じる 排尿時の残尿感が悪い為、正常に回復して欲しい 可能でしょうか【平成7年6月手術】
60	59歳	男	6 本人の様子はどの位悪いのか、どうなにかお教え下さい!
61	59歳	男	・ 難病治療の治療解決に向けて1日も早く研究が行われることを願っています(原因と治療方法)
62	59歳	女	13 平成2年10月16日手術を受けて10年近くになりました 最近は入浴やトイレなど人の手は借りてはいませんが以前より困難になって来ています 長い時間、立っていたり椅子にかけたりしていると気分が悪くなります 病院で診察を受けて保健所へ申請書を提出致しましたが認定されませんでした
63	60歳	男	16 よくテレビ・ラジオで健康相談をしています が整形外科とくに背骨の相談というのを余り聞いたことがありません 是非やってみてほしいと思います
64	62歳	男	8 私の子供は男3人で、2人(30歳、34歳)は年4-5回痛みがあり病院に行っています 親の遺伝があるのですか 私の病気は手術出来ないと言われました 先生の話では、手術したら以前より悪くなる人が多いと言われました 今、日本の学会で私の病気に対して研究されているのですか
65	62歳	男	17 この種の病気にに対して医療の現状を広く知らしめる活動を期待します
66	63歳	男	10 右の手と指が痛くて字が書けない 毎日一日中手袋を使用しています 左太ももから足の先まで痛みと暖いのがつらい 右手、指、肘にかけて常に痛みの連続です 何か良い方法ありましたらアドバイス下さい
67	63歳	男	12 後縦靭帯骨化症は10年単位で発症すると聞いていますが(平成9年3月4日手術)再発の可能性はあるのでしょうか 現在63歳で生活上の身体的支障はあまりありません 情報入手を望みます
68	64歳	男	・ 早く薬が出来ますよう願っております
69	64歳	男	6 種々の投薬をして頂きましたが一向に手足の痛みが取れず、又種々のリハビリを行いましたが良い事はありません つきまして同じ様な病気の患者さんの良くなった事例等を記した書籍、文献等が知りたく思います
70	65歳	男	9 同病気が他の部位に再発することがあるのか気になる
71	67歳	男	6 早くよい薬を作ってください 今からの人にも
72	69歳	女	14 私はこの手術後、体調が優れず集中力が欠け同じ姿勢が保たれません アンケートもこれで良いのか疑問です 良いアドバイスをお願い申し上げます よろしくお願い致します
73	70歳	女	8 せめて現状より悪くならない為の対策(リハビリなど)はないのでしょうか 私共の為にご尽力を賜り有難うございます
74	71歳	男	14 この病気について、これからどのように進行して行くのか、予防がよくわからない
75	72歳	男	16 皆様の努力で早く難病と言う病気を克服してほしい
76	72歳	男	5 私の病気にしてお尋ねします 昨年10月5日、急に小便が出なくなり救急入院致しました その時の状態は歩けなくなり腰膝(両下肢の筋力)活力不能となり12月末まで入院 その後、自宅療養及び介護サービスを受けています 月に1回診察に行っています病院の医師によりますと、後縦靭帯骨化症からくると言われましたが…? 関連について結論が出ましたら御一報下さると有難いです 助言が有りましたらお願い致します
77	72歳	女	・ 両腕や腹部、下肢、肛門までしびれ、この3年半は苦しみぬいて睡眠も余り出来ず苦しんでおります 私は幸運にも偉大な先生に励まされ、又注入に助けられてますが、この苦しみが少しでも楽になれたらと願っております 頸椎及び腰椎を大きく手術しますので、初めは少しリハビリや電気治療をしましたが効果なくかえって痛みがひどくすぐやめました 何か有効な方法はないのでしょうか 少しでも元気になりたいです
78	73歳	女	10 この病気の事をもう少し知りたいし、気をつける事、シビレが少しでもよくなりたいので注意する事等が知りたい シビレの薬、少しでも軽くなる何かあればと思います
79	74歳	男	10 下肢、足のつっぱり・痺薬にきく薬がありましたら教えてください
<4> 医療、治療などに関する内容 (29件)			
80	43歳	男	・ 手術して脊椎圧迫部の骨化している靭帯を取り除いたが、一部知覚障害、しびれが残っている 手術前よりは大中に改善 但し、今後頸椎部の骨化など進む可能性あり、不安である 補強の金属を埋め込んでいるので以前のように運動ができず、ストレスがたまる
81	47歳	男	・ 背骨の手術を2回行うが全く以前の様にまどもに歩いたり運動したりがかなり不便 医師は必ず良くなるといつも言いますが痛みもしびれもかなりきつい 何の為に痛い思いをして手術したのか納得いかない 仕事どころか普段の生活もかなりまとも出来ない どの様にリハビリ等したら良いのか? 死にたい 腎臓・肝臓・背骨と悩んでいます 特定疾患の受給方法を教えてください 特定疾患の受給を受ければ身体障害の受給を受けられますか
82	51歳	女	11 私は、頸椎の骨(7本)全てを開く手術を受けました でもこの手術は治すのではなく進行を抑える手術だと聞きました 今の所、手術前比べると手の力が入るようになり、字もよく書ける様になり、指先の事も出来る様になりましたが、まだ少し感覚がなくなりしびれています 将来又、症状が進行して行った時にどのような手術をするのか心配しています

表5-4 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)	
83	52歳	男	13	手術を受けてほぼ回復しました。但し、左足、手にしびれがありますが日常生活には支障はありません
84	52歳	男		平成9年1月12日に入院、手術してもらったが手のしびれはまだまだ治らず
85	55歳	男	13	3年間で頸部脊髄症で2回も手術したが各病院によって診察・検査・手術場所が異なるでしょうか。(1回目の病院は首の後ろ、2回目の病院は前) 1回目の入院で原因がわからず3ヶ月入院(薬もなければ注射もなし)その後手術したら右手親指・人差し指・中指にしびれ・感覚なし、右腕筋肉もだんだんなくなり右腕すべて力が入らなくなる。とても我慢できず2回目の手術したが、しびれ他は同じ。1回目の手術する前は、しびれ等なし
86	57歳	女	10	寒い間は外出できない。足がもつれてつらい日が続く。手術をしなかった方が良かった。家族が手足になって一日過ごされます。背中が一日中、鉄板をしょっているみたいです
87	58歳	男	17	私の場合、診断・手術・治療が全てうまく、手術前に比べ健康状態が非常に良くなり、毎日快適な生活ができますので心から感謝しています。携わって下さった諸先生にお礼を申し上げます
88	58歳	男	17	手術以前にも増して健康的になり、手術をしていただいた先生をはじめ諸先生に感謝しております
89	61歳	男	8	他の医療より遅れていないか。手術後、症状が楽になると思ったが、逆に思わぬ症状に苦しんでいる
90	62歳	女	6	私は手術する前は少し歩けたのですが、手術してから全く立つことも歩くことも出来なくなりました。これは絶対手術ミスだと思っております。(先生にも何が起ったかわからないと云われました)何の補償も受けておりません。手術した先生をいつも恨んでおります
91	63歳	男		手術致しましたが、手足のシビレは取れません
92	64歳	女		再発の心配はありますが、ここまで元気になっていただいたので毎日感謝しています。もっと悪くて苦しんでおられる方がいらっしゃいます。これから先も前向きに生きて行きたい。私に出来る事があればお役に立ちたい。人の為に・・・
93	66歳	女	15	手術が成功して感謝しております。現在、不自由なく生活しております
94	66歳	女		患者に対して笑顔で接して欲しい方もいらっしゃいました。心のケアが必要と思います
95	67歳	男	16	切開手術を受け、現況の通り快復しました。日々感謝しながら社会奉仕に専念しています。皆様方の研究が一層進展することを祈念しています
96	69歳	男	8	手術前と後の病状が一緒である。医師の誤診ではないかと思う
97	69歳	男		手術後、両足と右手の痛みが朝から夜ベッドへ入る迄激しく一日中続きます。手術は平成6年12月6日。以後今日迄同じ繰り返しです。病院も5ヶ所位行きましたが、どの医師もハッキリした答はありません。只々自分で我慢しているのみ、寝ているのが一番楽です。首の横振りはほとんどできない
98	71歳	男	7	日常の軽作業は何かですが、今だ両手先及び右半身はしびれています。頸部手術の為か、肩が凝り、長時間の座位も苦痛です。今以上に悪くならないかと思っています
99	72歳	男		9年前糖尿病で入院。薬物治療を始めた日より両手足の激しいしびれ・指間筋委縮が始まり逐次多発性神経障害が発見。変形性頸椎症と診断。他院で頸髄症。頸の牽引(入院・外来)後約1ヶ月半で頸の激痛、歩行・階段の昇降・起き上がり・立ち上がり・しゃがみ・座り等困難。従って糖尿病の神経障害で牽引を行った結果による外傷性頸部脊髄症と思えて仕方ありません。改善されつつありますが座り辛い為、布団の中での生活が続いています
100	72歳	男	17	脊椎を開く手術(平成4年)は成功したが現在は腰部の老化と思える腰痛が進行していると思う。手術については技術が進展しており信頼性は十分あると思われるので前向きに考えている
101	73歳	男	7	現在の現状では悪くなる可能性も見られず、又治る見通しもないので年1回の診察で良いのではないかと。言うことですが、常に腰にオモリをつけている様で腰から下がだるく感じられ、歩行も不安定で歩く距離も短くなり歩行が不可能になるのではないかと心配しています
102	74歳	男	13	脊髄腫瘍手術や頸椎手術をしても今尚健在である自分は、医術の進歩のおかげと感謝しています
103	74歳	男	9	昨年7月に手術を実施しましたが術後の経過が好ましくなく、しびれ・歩行、特に左腕部が補助しないと上に行かない状態です。現状では字も書きづらく術前の方がうらやましい
104	74歳	女		先生に感謝しています。少ししびれがありますが、死ぬまでこれ位なら良いと思います。先生が今度は腰と言われましたが、本当に少し腰が悪い様に思います。年ですな
105	75歳	男		平成11年7月に健康診断を受けた際に、中性脂肪が890もあった為に病院より降下剤を受け現在も飲んでおります。3ヶ月前より頭が痛くなり病院にて以前と同じ薬をもらって飲んでおりますが、3日程飲むのを休むと頭が痛くなるのです
106	77歳	男		手甲部(私の場合は両手1・2・3指)に激痛及び冷感が常時感じるので、36-37度位に保温できるような器具の開発を希望します。又、安易な手術の進めはどうかと思います
107	77歳	女	5	本人に関しましては術後、仕事やふだんの活動(家事)はできません
108	77歳	女	10	手術してから、少し後遺症が出た。いつもしびれが少し有るので、これ以上悪くならないようにリハビリをして頑張っております

表5-5 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)	
<5> 患者会などに関する内容 (16件)				
109	45歳	女	15	患者会があったら教えてください
110	47歳	女	7	靭帯骨化症の会は地区の保健所の会だけなのでもっと全国や京都支部の人々の経験など知りたいのですがどうすれば良いか教えてください
111	49歳	女	15	患者会について知りたいと思います アンケートに今まで病気になる以前の日常生活・食事・運動量なども知りたいです
112	51歳	女	9	患者会の入会の方法・住所等がもし教えて頂けるとあれば教えて頂きたい
113	52歳	男	15	患者会があるとのこと、紹介していただければと思います
114	55歳	女	6	同じような病気の方々がいらしたら少し情報がほしいです
115	57歳	男	14	同じ病気をもつ患者会について知りたい
116	57歳	女	13	皆様方はどのように毎日過ごしておられますか この患者会を教えてください
117	61歳	女	12	患者会を教えてください
118	62歳	女	10	同じような病気を持っている患者会を知りませんでした 所在地等わかれば幸いに思います
119	64歳	男	3	アンケートをいただきありがとうございます 患者会などわかりません 一生懸命自分ながらのリハビリでがんばっています
120	65歳	女	13	もうこの時は死を考えたが、希望をもってまだ死ねないと、先生のおかげで、毎日感謝の気持ち一杯です 私と同じ病気の方がいれば逢って話したいです
121	67歳	女	.	同じ病気の方と話し合えたら幸いに存じます 障害者の世話をしながらの生活ですので精神的にまいります
122	68歳	女	17	ラジオ体操等をする様になってから、首の動きが以前より少し良くなりました 会員名簿等を送付して戴きたいと思います
123	69歳	男	.	同病者間の情報交換がほしい
124	79歳	男	3	同じ病気患者の会が存在すれば入会したいです
<6> 病状経過などに関する内容 (20件)				
125	45歳	男	.	病名の字が読みにくい 頸椎の手術をした
126	45歳	男	6	この難病で平成6年頃から闘っています 平成11年3月17日に頸椎、胸椎を同時に病院で手術をして現在リハビリ中ですが、背中、首などが硬く、左足もしびれ、神経の痛みなどで仕事をするにも体の状態が悪くて寝起きしている状態です 外から見れば元気そうに見えるかもしれませんが、体の中身は非常に生活しにくいです
127	45歳	女	17	入院、手術が平成11年3月で、現在、丸一年が過ぎました
128	50歳	男	17	自分の病気が又いつ再発するか不安もありますので本アンケートが又来ましたら、お答えしますのでよろしくお願ひします
129	59歳	男	11	平成10年5月に手術してもらいました
130	60歳	男	13	平成10年12月に右足親指切断手術後、皮膚癌となり入院を繰り返しています 現在も、入院中です
131	65歳	男	3	平成4年頸椎後縦靭帯骨化症発病 平成8年同手術 平成8年4月特定疾患認定 平成10年黄色靭帯骨化症手術
132	67歳	男	8	平成5年10月 肝細胞癌にて手術 平成6年10月 大腸癌にて手術 平成9年3月 C4-6前方除去固定術
133	69歳	女	14	昭和61年手術 手術前は歩行も困難でした 交通事故の為
134	70歳	男	14	68歳頃に変形性膝関節炎になり歩行及び正座がむづかしくなりました
135	70歳	男	11	後縦靭帯骨化症 平成6年5月手術 バーキンソン病発見された
136	70歳	男	5	既往症、脳梗塞発作で3回入院 上肢右しびれ激しくも24時間内で回復 後遺症残らずも3回目よりしびれ、歩行不自由残る
137	70歳	女	11	脊椎の痛みは、手術をする迄は異常感もなく、手足のしびれや1時間以上立って居られなくて疲れひどい為、診察を受けて始めて病名が解った次第ですから記入しませんでした 先生は20年位前から病気が始まって居るはずと云われています
138	71歳	男	.	私は手術をたくさんしているのでアンケートと異なる点があるかも知れませんが 手術の箇所、腰・股関節・前立腺・胃・首5-6箇所手術していますので
139	73歳	男	12	頸椎後縦靭帯骨化症の発見は昭和62年スキーで転倒し30分程四肢麻痺した時 同年特定疾患の認定を受け手術した その後1年位ステッキ使用 2年経過後はゴルフも再開 昨年より下肢に時々硬直を感じ9月頸椎の取り残し部を手術し現在に至る
140	76歳	男	12	平成5年 頸椎性脊髄症で入院(約2ヶ月) 平成7年 脳挫傷で入院(約1ヶ月) 平成9年 脳梗塞で入院(約1ヶ月)

表5-6 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)
141	77歳	男	14 昭和43年癒着性脊髄膜炎と診断され3月と12月に観血手術を受けたがその後、腰椎が強直し屈曲不能・左下肢の知覚障害・しびれ感鈍痛があった 平成7年頃から後縦靭帯骨化症となり平成11年6月頸椎椎管拡大術を受けて今日に至りますが77才を過ぎている為体の硬直が増し衣服の着脱が不自由となり歩行も杖をついて歩く様になりましたのでアンケートにお答えするのに先の病気と後の病気と併合してその結果を判断して記入した所もあります
142	77歳	男	平成7年12月に手術を受けました 又、平成10年7月に大動脈瘤の大手術を受け今はリハビリ・デイサービス等色々な介護を受けてどうか日々を送って居ります まだ、手足のシビレがあります
143	80歳	男	平成4年10月18日 腎臓摘出手術 平成4年12月8日 退院 平成7年3月31日 後縦靭帯骨化症手術の為入院 平成7年4月27日 一時退院 平成7年5月31日 入院・手術 平成7年7月14日 退院 平成8年10月9日 腎臓病転移の為より大出血あり入院・退院を重ねる 平成11年6月2日 肺転移にて死亡
144	歳	男	平成12年3月10日より26日まで 入院
<7>現在の病状などに関する内容 (55件)			
145	42歳	女	現在、首の痛みが激しくリハビリしている病院で痛み止めの薬を飲んだり調子が良い時は服用を止めたりの繰り返しです
146	48歳	男	14 首の重い感覚がたえずあります
147	49歳	女	10 右手、左足にしびれ感が常にある 痛みますので辛いです お役に立てれば幸いです
148	50歳	男	15 昨年、病院の検診時良好 長時間パソコン操作時、首が痛くなる 今年の冬、5-6回スキーに行くこともできました(1日リフト5回位) 階段を降る時、手すりがあれば手がのびる(足のふるえ有り)
149	51歳	女	あお向けに眠れないのが一番つらいです
150	52歳	男	15 首が重たい
151	53歳	男	体がだるく、手や足に時々しびれがある
152	53歳	女	17 症状が軽く術後リハビリ訓練もなく日常生活に不便なく暮らしています
153	53歳	女	12 痛みと同時に背中全体の筋肉が硬くなっているためなのが常に鉄板が背中一面に付いている感覚は消えることがありません 歩いている時は重いリュックを背負い登山をしているようです 痛みだけではないのです それでも私は生きている限りOPLLと共存するしかありません
154	53歳	女	13 痛みは全然ありませんが、手指のしびれ、足、腰のツッパリ感、腹部の膨張感等あります 右に身体が曲つてくると言われ、予防の為毎週、ハリ・マッサージに通っています 最近はこの病気の為かどうか(生れながら斜視)目が悪くなった為の通院で、この病気の為では年一回の検査だけ病院へ通っています それから、体重を減らせれないのが全てに影響していると思います
155	55歳	男	16 右足のシビレと、足と腰に力が不足の為に足元が不安なのです
156	57歳	女	10 手術をして5年になります 手術前より、歩いたり手のしびれはずいぶん良くなりましたが、最近少し足のしびれが気になっています 再発でない事を祈っている毎日です
157	58歳	女	座っているのがしんどいのでアンケートを書くのは疲れます できたら書きたくなかったのですが私に立つ事があればと思い書きました 早く病気からサヨナラがしたいです
158	59歳	男	11 手術部あたりが痛い(張るような)感じがするのと、腰が痛いのと、足の先のつけねあたりがいつもしびれと言うか引張を感じております
159	61歳	女	11 水泳等、水中リハビリをしておりますので10年前より見ちがえる様に良くなり、杖もほとんど不要になりました
160	62歳	男	14 頸椎後縦靭帯骨化症の手術後の回答です
161	62歳	男	17 特定疾患を受けましたが、手術いたしまして健康を回復致しましたが その後、順調でございます
162	62歳	女	少しがんばった日は夜、手がしびれる
163	63歳	女	仕事がはかどらなかつたり、すぐ疲れたりするのは年令のせいと思っていましたが病気のせいでしょうか
164	63歳	女	交通事故から見つかった(平成2年6月17日)
165	66歳	男	9 首がよく動かない
166	66歳	男	後縦靭帯骨化症の手術を受けて1年未満 体の調子が悪い
167	66歳	女	14 時々背中と首が痛くなってくる ビリッとした感じですが 長く首が使えない 長く運転が無理 手足がしびれる
168	67歳	女	9 私は首から肩の下あたりまで手術をした後両手のしびれ・激痛、足のふくらはぎの痛さで大変です 2年を過ぎましたが薬だけで毎日痛さとたたかっています
169	67歳	女	9 私は夜、左の肩から足のつま先までしびれで寝むりが浅くて苦しんでいます 本当に苦しんでいます
170	68歳	男	14 現在、足痛の為通院して居ます
171	68歳	男	15 長時間の歩行や夜休む時など、首のあたりがこって痛みを感じる なお手の指のしびれもほとんど以前と変化がない 日常生活にはさほど支障がないので助かっている

表5-7 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)	
↓	↓	↓	↓	
172	68歳	男	.	手足のしびれと腰の痛みがひどくなんとかならないか
173	68歳	男	.	私は右手足が不自由ですが、元々左利きで助かって居ります この文の右手で書くのがやっとなです
174	68歳	男	13	足の力がないのとシビレが残っています お蔭様で良くなりつつあり感謝しています
175	68歳	女	8	体がかたくならない様入浴時軽く体操をしています その時足の裏の痛い所をもむ様にしてます 1ヶ月に3回程鍼と灸をしています
176	69歳	女	14	平成10年度から特定疾患受給者証はいただけなくなりまして 平成10年7月に脊椎変形性すべり症による脊柱管狭窄症の手術と3番4番の固定手術を受けました 長年の腰痛で両股関節屈曲拘縮で固くなった筋肉をやわらげるマッサージを受けています 歩行が一歩つらく、背をのびて歩けるようになるのが一番の目標でリハビリに専念しております
177	69歳	女	.	身体の手足のシビレで心配です
178	70歳	男	14	歩行していたら、だんだん首が垂れて来る程度です
179	70歳	男	.	首～肩～背中～腰にかけて痛みがとれないかと思う
180	70歳	男	11	平成10年1月27日手術、2年間経過 両手のしびれ、右足の膝から下のしびれは1日24時間有り、両肩の引っぱりが有りますが、何とか日常生活を送っています
181	70歳	女	.	許可があれば、5月中に手術を考えて居ります
182	70歳	女	.	私は、足がだんだん硬くなって動きが悪く、歩くのが遅くて大変です
183	71歳	男	9	設問外ですが、病状が何時も左半身の痺れ、特に股から足先にジーンジーンする痛み、温度感覚異常、大変歩行しづらい 首、肩の疲れ大
184	72歳	男	.	現在、熱い物コーヒー等持ち運びが出来ない 体だけが精一杯です どこに行くにも歩行機ないとダメ 杖など使用すると安定せずすぐ倒れる
185	72歳	男	.	左手のシビレが右より強く左手が上に上がりません 左肢の引ずりが右肢より強く、よくつまづき転びます ボタンを自分でかかれられません
186	72歳	女	.	現在、腰痛と高血圧並びに頸椎靭帯骨化症で通院中です
187	72歳	女	17	首のつけ根の肩こりが常々気になります 特に重いものを持ち上げた時・寒い時など肩こりが強い時は体の安定感がなくなる
188	72歳	女	5	左手は駄目 右手も少しおかしいので万年筆しか書けません
189	72歳	女	.	手術後は痛みも少しとれてきていますが、まだまだ痛みます 手はいつもむくみます 歩くのが苦手です
190	73歳	男	7	靭帯の病気は少しづつ歩行から悪くなってる(痛み) 昨年・今年にかけ胃ボリーブ・腸ボリーブと内視鏡による手術 腎臓・糖尿病脳梗塞・心臓たくさん病気があり15kgやせ健康を保つことがとてもむづかしい状態にある
191	74歳	男	15	私の病名は後縦靭帯骨化症で、頸椎の方で背椎の方ではありません 現在、左肩及び首筋、左手首より肘まで痛み、親指・人差指末梢にしびれがある
192	75歳	男	8	父は左半身が不自由なため家に居る事が多くなり、また運動などして身体を動かす機会もなくなっています 運動能力の低下、外部との接触が少なくなる中、神経内科的には老人性痴呆の合併もみられます
193	77歳	男	11	時々手が不意に引きつる 時には両手の指が同時に引きつる 数分間痛む 連続した歩行は約500m位が限度です 左腕には力がありません 又ワイシャツのボタン等ははとめる事が出来ません 字を書く事も大変難しいです 歩行中首を左右や後ろに向けると足がふらつきます
194	77歳	男	.	平成4年に手術 1年毎にだんだん悪くなり現在は両足のももから下は自分の足の様な気がしません しびれているのでしかも足の指が腐るかもっと進むと足の指を切断するとの事です だんだん動くのが辛く寝たいです
195	78歳	男	9	長年、右手4本自分でマッサージしているが、しびれ、痛みが治らない 夜は痛まない 病院で注射 薬は飲んでいる
196	78歳	男	7	今マッサージをしたい
197	79歳	男	0	娘の婚家先にて自宅介護を受けている 一年前に京都にて脳内出血で倒れる
198	79歳	男	15	約6年前に頸椎靭帯骨化症の手術を受けました その結果、手のシビレ等全治しました 尚、約7年前に解離性大動脈瘤と診断され、現在、外来の診察を受けています 降圧剤の投与を受けています
199	80歳	男	.	どの医者へ変っても自分に合う痛み止めが見つからない 四六時中、手足がシビレで痛いのです

表5-8 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同意可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)
<8>生活状況などに関する内容 (19件)			
200	49歳	女	一人では外に出たくても出れない ベットから動く事が一人では難しい 一人では服をタンスから出して着る事さえできない
201	50歳	男	4 網膜色素変性症と後縦靭帯骨化症の2つの難病に悩まされながら、仕事を頑張っています いつ進行するかと内心ははらの毎日でありますが、現在の所はいたって元気になっています 仕事場への往復は私(妻)が自家用車で送迎している次第です 自宅では階段の両側に手摺りをつけ、リハビリを兼ねて毎日昇降りしています 今一番の問題点は、排便の事です 職場へは、はくパンツ着用で出勤しています
202	51歳	女	私は現在、会社員として働いております この病気になってから体の楽な部所へ移動して何とか毎日働いています 自分で動ける内は少しずつでも前向きにこれから先、生きていきたいと思ってます 不安はいつもありません 歩いていてつまづいたりとか、この先どうなるのかとか子供には私の病気は出ないかとか(母も私と同じです) 現在入院8年目位です
203	53歳	男	10 私は職業柄、正座は出来るのですが必然的に仕事量を減らされてしまいます 私達は仕事量=収入になるので必然的に収入減となります
204	54歳	女	13 買い物も娘と一緒にいつも行ってます 週1-2回 自分では不安で1時間ほど歩くのが精一杯です カートをついでないと無理で夕方になると毎日つらくなり横になります
205	56歳	男	8 独身のため、すべて兄嫁に世話になっている
206	59歳	男	12 間67仕事への影響で、活動しにくいのは、柔道を指導していた為できなくまりました
207	59歳	男	15 先生方の手術で、今は元気に農業をしています
208	61歳	男	14 特定疾患の認定を受けているが手術後は正常な仕事(生活)をしており特別な病気とは思っていない ただ左手の敏感さが治らないのが気になります
209	61歳	男	15 最近(1年前より)ゴルフを再開し、月に1-2回ラウンドする様になりました
210	65歳	男	14 当該脊椎の病気が転倒により発症したもので手術後のリハビリによりかなり改善され、お陰様で海外旅行にも行けるようになったが手のしびれ及び握力不足で荷物は女性より持てない 例えば飛行機の上部へ荷物を上げようとして手が支えきれず落とした
211	65歳	女	17 私は6ヶ月に一回健診に行っています 無理のない仕事は2時間位続けたら30分位休んで又やれるので、有難いと思っています
212	67歳	男	15 毎日歩く事に気を付けています
213	67歳	女	89才の夫の母と同居 とにかく無理はしています 家の廻りの畑など少しは野菜も作ったり生活上とても無理はしています 生活費はとてもかかりますので仕方ありません 自分の体の事は2の次です 農家で田んぼは頼んでお米はもらっていますが買う程度になります 今の農家は費用を出せば収入にはなりません
214	67歳	女	主人が平成11年10月-12年3月8日まで3回の入院 後、自律神経失調を現在まで起こし私も最悪の状態で主人の病院通いで毎日の様に外出でした 普通この事がなければ私の状態も少しは良かったと思います
215	68歳	男	11 私は無職です
216	69歳	男	友、近所の人とのつき合いが難しい 歩くのが悪いから 現在、リハビリに一生懸命 歩くのが幸いのと泌尿の病気以外ほぼ健康
217	79歳	女	今は健康で野菜・花など作っています
218	81歳	男	11 日常は食事時以外は床の上にて読書、新聞、テレビ等で過ごす それ以外は何もしない 自分の周囲は自分でかたづけるよう心掛けている 便器の使用後の取替は家内が
<9>その他 (14件)			
219	47歳	女	何事にも前向きで明るい本来の自分を見失わないよう日々努力しているつもりです アンケートを終え今一度自分の生き方を見直しさらなるリハビリ(心身共々)に励みたいと思います
220	54歳	男	この病気と付合って早7年になりました 心のいらだち、不安、いろいろな自分の世界の中で過ごして来ましたが、病氣と上手に付合って行くことを言われ、心がけております 手足のしびれ、筋力の低下、指先の障害、毎日が不安です しかし、プラスの考えで前へ前へと進んでおります 家族の協力もあり毎日仕事も楽しく過ごしております 病氣になりいろんな世の中を感じる事が出来、病氣は長い(永い)友達になりそうです
221	54歳	男	11 今後ともよろしくお願い致します 気遣い有難うございました
222	54歳	男	11 看護は患者を慰めるだけでなく真実を見つめて生きていく助言をしてほしい 患者は精神面での自立が特に必要
223	58歳	女	8 私と兄2人(長男と三男)が同じ病氣です(8人兄弟です) 男3人、女5人
224	60歳	女	痛みや、しびれで何をすることも不自由なのに見かけが普通なので他人にわかってもらえないのがつらい 電車などでも座れない時間帯に乗った時はつらいです アンケートが少しでも何かの役にたつのでしたら何時でも協力させていただきます

表5-9 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾ (は欠測値があるため、算出不能例)
225	61歳	女	11 大変なお仕事ですね 私も一生頑張ろうと思って居ります 良い方法をとって皆様役に立つ事を願って居ります よろしくお願ひ致します
226	64歳	男	15 健康って大切です
227	67歳	男	10 コスモドクターと言う電子治療を受けております 経過は良い 機械が高価なため只今は体験場で行っているため間もなく閉鎖となります
228	74歳	男	12 私頑張ります 皆様も頑張って下さい
229	75歳	男	いろいろとご苦労様です 今後ともよろしくお願ひ致します
230	75歳	女	突然激痛としびれで歩けなくなりボランティア(遠い)からタクシー7000円かけて帰らず入院しました 平成9年5月 車椅子生活4ヶ月私は障害の方々の苦しみを知りました よい先生に恵まれ手術の先生のむつかしいと言われた骨の手術 私はリハビリでしびれだけ残し杖で歩いています 昨年結腸癌も手術してますます気力でリハビリを続けて週2回ボランティアも 生かされている思いを大切にささやかなボランティアも
231	76歳	男	9 毎日朝食後風呂に入っている(朝夕2回) 朝食・入浴後は1時間位散歩をしている 日中は習字(筆)をする、昼寝は努めてしない(夜眠れないから) 以上をしていると現在の健康が保てる
232	78歳	女	8 手術後6年、加齢と共に厳しさが増します よろしく御研究お願ひ申し上げます
<10>アンケートに関する内容(51件)			
233	41歳	女	問49-63は返答に困りました
234	46歳	男	16 今後、このようなアンケートはお断わり・・・
235	47歳	男	8 本調査表紙に匿名で結構ですと記載されていますが、一連の番号が記入されており、不審感を持ってしまいます 配慮方願ひします
236	50歳	男	16 アンケート記入したが他の人のアンケート・健康状況を知りたい
237	50歳	男	16 私は脊椎の病気で手術をしたではありません 私は頸椎の病気でした
238	51歳	男	10 通院・往診・入院の区別、回数の数え方が良くわかりません 病気(入院・手術)した人間に、問74の質問は意味があるのですか?
239	51歳	男	15 アンケート集計できましたら送付下さい 今後の参考にしたいと思います
240	52歳	男	14 設問で回答できないものがあつた
241	53歳	女	最初の方は少しずれがありえると思います
242	53歳	女	4 ○に該当しないのもありましたけど近い所で○をしてあります
243	57歳	女	私の持病は脊椎ばかりではありませんので答えるのに困った所がありました
244	57歳	女	調査趣旨に該当しない気がします 私の病は頸椎の病で手術したものです
245	58歳	男	8 前回はアンケートを提出したがその時、集計・フォロー・アドバイスが提示される旨であったが何の情報もなかった 何か情報を知ろうとしているのですが良き提案をお願いします 特定疾患とは知らなかった
246	59歳	男	15 このアンケート調査は脊椎の病気が対象の様子ですが私の病気は頸椎の病気でしたので質問の区別がわかりにくかったです
247	59歳	男	15 11年7月13日頸椎骨化症除圧手術を受ける 現在、リハビリ通院中 問42-48の答えに不安有り
248	59歳	女	書いていない所は、自分に当てはまらないと思った所です
249	60歳	男	このアンケートの意味は、かなり重い障害の方を対象にしていると思われまふ 私は現在は普通(正常な)の生活をしております 今後は、たびたびのアンケート依頼は御遠慮させて頂きたい
250	60歳	男	重症に近い方の質問に近く自分の感じる痛みには適当な項目がなく○×に関しては判断に迷いました
251	60歳	男	6 この様なアンケート調査の結果をアンケートを提出した患者に開示して頂きたいと思っています 是非お願ひ致します
252	60歳	女	7 アンケートの結果が分かりましたら知りたいと思います 前にもアンケートが有りまして、知りたい人には送ってくれると言っていました、それっきりでした

表5-10 アンケートの自由記入欄記載内容

(記載事項の中で、患者個人または医療機関の同定可能な箇所は除外した)

No.	年齢	性別	JOAスコア推定値 ¹⁾	(.は欠測値があるため、算出不能例)
↓	↓	↓	↓	↓
253	61歳	男	12	アンケートをまとめた結果を知りたい
254	61歳	男	9	手指のしびれについての質問がなかったのですが、その事が私の関心事です 握力の低下も著しく回復しないのが心配
255	62歳	男	7	自分の身体について不適切な質問がいくつかありました 例えば歩行出来ないのに100m位歩けるか等歩行に関する質問
256	63歳	男	15	私に該当する項目が少なかった アンケート適任者ではなかったのかな?
257	64歳	女	.	このぐらいのアンケートの答えはできるがこれ以上は無理
258	65歳	男	.	痛みや、しびれ等の頂がない
259	65歳	男	4	前回もそうですが、この調査により何が判るのですか 結果も知りたいです
260	66歳	男	4	アンケートにお答え致しましたので参考になれば幸いに存じます 今後ともよろしく御指導と御鞭撻の程お願い申し上げます
261	66歳	男	7	質問の内容がとても勘ちがいしやすいと思った
262	66歳	男	.	大変良いアンケートでした 今後も定期的に実施して頂き、医療に改善、進前に役立てて欲しいです
263	67歳	男	12	多少あいまいな回答になった所もあったと思います 可能な限り誠意をもって協力したつもりです
264	67歳	男	16	質問の意味、答えが良く判別できないものがあつた もっと具体的にハッキリした答えにした方が良い
265	67歳	男	.	時々やって下さるといいなあと思います
266	67歳	男	12	質問の中で何とも言えない所は記入致しておりません
267	67歳	女	13	説明が分かりにくい
268	68歳	男	.	少し足のしびれ・唇のしびれ等がありますがしびれについての質問があつて良いと思います
269	69歳	男	9	小生は、腰部椎管狭窄症手術を要する時期に来て居ります 頸からのしびれと腰のしびれと同時にするため、○印が不確定となりがちですが努めてアンケートに近い状態を○印したつもりですが?
270	69歳	男	17	このアンケートを見ると私は脊椎の特定疾患者または身体障害者のような感じになるが、どうしてアンケート対象者になったのでしょうか
271	70歳	女	17	気分の迷入するようなアンケートは止めて欲しい 例問69以降
272	71歳	男	.	昨年、膝の変形による痛みがひどく秋に人工関節を入れました 問26-32の設問についての回答はその手術後の結果による部分が大きく関わっていると思います
273	71歳	男	.	問67・68・72が意味が判りにくい
274	72歳	男	11	平成9年3月13日頸椎の手術を受けた 術前約1カ月間は設問12-19で介護が必要であった(殆ど寝たきり)
275	72歳	男	13	最近私は腰痛、下肢痛、下肢シビレ等による変形性すべり症のため2ヶ月入院し、この4月中頃退院したばかりです 従って、ご質問と回答が狂っているかと思いますが悪しからず許して下さい
276	73歳	男	15	自分の現状を考慮、あきらめなければと思うことはあきらめて(あきらめようとして)その中で自分なりに納得した毎日を願っているため、質問の内容に(特に問64以降に)じっくりしないものがありました
277	74歳	男	12	記入する・読むのが大変でした
278	75歳	女	.	上半身は自由にできるのですが腰、下半身が不自由で質問内容が具体的にでなくとても質問に答えにくいでした
279	76歳	女	12	角膜手術して片目しか見えないので、きたなくて申し訳ございません
280	79歳	女	.	自分ながら判断が不明の所もありますので、お許し下さい
281	81歳	男	.	用語の意味がよく理解できない部分があつて不十分な回答で申し訳ありません
282	84歳	男	12	この種のアンケートが2回ありほとんど同じ位の内容で回答しました
283	85歳	男	.	回答する番号に○をつけづらい 質問と回答の言葉が一致しない

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

1. Furushima K, Shimo-onoda K, Maeda S, Nobukuni T, Ikarri K, Koga H, Komiya S, Nakajima T, Harata S, Inoue I : Large scale screening for candidate genes of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine. *J. Bone Miner. Res.* 17(1) : 128-137, 2002
2. Maeda S, Ishidou Y, Koga H, Teketomi E, Ikarhi K, Komiya S, Takeda J, Sakou T, Inoue I : Functional impact of human collagen α 2 (XI) gene polymorphism in pathogenesis of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine. *J. Bone Miner. Res.* 16(5) : 948-957, 2001
3. Havelka S, Vesela M, Pavelkova A, Halman L, Ruzickova S, Koga H, Maeda S, Inoue I : Are diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) and ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine (OPLL) genetically related ? *Annal. Rheum. Dis.* 100 : 118, 2001
4. Maeda S, Koga H, Matsunaga S, Numasawa T, Takeda J, Harata S, Sakou T, Inoue I : Gender-specific haplotype association of collagen α 2 (XI) gene in ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine. *J. Hum. Genet.* 46 : 1-4, 2001
5. Ikewaki I, Tamauti H, Yamada A, Aoki M, Yamamoto R, Sawada A, Inoko H : A microfilament formation inhibitor, cytochalasin strongly enhances the low-affinity Fc receptor II (CD23) expression on the human monocyte-like cell line, U937J *Clinical Immunology* 20 : 424-433, 2001.
6. Deguchi R, Takagi A, Kawata H, Inoko H, Miwa T : Association between CabA + *Helicobacter pylori* infection and p53, BAX and TGF β -RII gene mutations in gastric cancer patients. *International J Cancer* 91 : 481-485, 2001.
7. Sugimura K, Ota M, Matsuzawa J, Katsuyama Y, Ishizuka K, Mochizuki T, Mizuki N, Seki S, Honma T, Inoko H, Asakura H : A close relationship of triplet polymorphism in MHC class I chain-related gene A (MICA) to the disease susceptibility and behavior in ulcerative colitis. *Tissue Antigens* 57 : 9-14, 2001.
8. Ota M, Katsuyama Y, Kimura A, Tsuchiya K, Kondo M, Naruse T, Mizuki N, Sasazuki T, Inoko H : A second susceptibility gene for developing rheumatoid arthritis in the human MHC is localized within a 70 kb interval telomeric of the TNF genes in the HLA class III region. *Genomics* 71 : 263-270, 2001.
9. Mizuki N, Yabuki K, Ota M, Verity D, Katsuyama Y, Ando H, Onari K, Goto K, Imagawa Y, Mandnat W, Fayyad F, Stanford M, Ohno S, Inoko H : Microsatellite mapping of a susceptible locus within the HLA region for Behcet's disease using Jordanian patients. *Hum Immunol* 62 : 186-190, 2001.
10. Shiina T, Ando A, Suto Y, Kasai, Shigenari A, Takishima N, Kikkawa E, Iwata K, Kuwano Y, Kitamura Y, Matsuzawa Y, Sano K, Nogami M, Kawata H, Li S, Fukuzumi Y, Yamazaki M, Tashiro H, Tamiya G, Kohda A, Okumura K, Ikemura T, Soeda E, Mizuki N, Kimura M, Bahram S, Inoko H : Genomic anatomy of a premier Major Histocompatibility Complex paralogous region on chromosome 1q21-22. *Genome Research* 11 : 789-802, 2001.
11. Matsuzaka K, Makino S, Nakajima K, Tomizawa M, Oka A, Bahram S, Kulski JK, Tamiya G, Inoko H : New microsatellite markers in the human MHC class III region. *Tissue Antigens* 57 : 457-462, 2001.
12. Gasper JA, Shiina T, Inoko H, Edwards SV : Songbirds genomics : Analysis of 45 kb upstream of a polymorphic Mhc class II gene in red-winged blackbirds (*Agelaius phoeniceus*). *Genomics* 75 : 26-34, 2001.
13. Ando A, Kawata H, Murakami T, Shigenari A, Shiina T, Sada M, Tsuji T, Toriu A, Nakanishi Y, Mitsuhashi T, Sekikawa K, Inoko H : cDNA cloning and genetic polymorphism of the swine major histocompatibility complex (SLA) class II

- DMA gene. *Anim Genet.* 32 : 73-77, 2001.
14. Holland LZ, Rached LA, Tamme R, Holland ND, Inoko H, Shiina T, Burgtorf C, Lardelli M : Characterization and developmental expression of the amphioxus homolog of Notch (AmphiNotch) evolutionary conservation of multiple expression domains in amphioxus and vertebrates. *Dev Biol.* 232 : 493-507, 2001.
 15. Obuchi N, Takahashi M, Nouchi T, Satoh M, Arimura T, Ueda K, Akai J, Ota M, Naruse T, Inoko H, Numano F, Kimura A : Identification of MICA alleles with a long Leu-repeat in the transmembrane region and no cytoplasmic tail due to a frameshift-deletion in exon 4 *Tissue Antigens* 57 : 520-535, 2001.
 16. Arai T, Yoshida K, Kaburaki J, Inoko H, Ikeda Y, Kawakami Y, Kuwana M : Autoreactive CD4(+) T-cell clones to beta (2)-glycoprotein I in patients with antiphospholipid syndrome : preferential recognition of the major phospholipid-binding site. *Blood.* 98 : 1889-1896., 2001.
 17. Kulski JK, Martinez P, Longman-Jacobsen N, Wang W, Williamson J, Dawkins RL, Shiina T, Naruse T, Inoko H : The association between HLA-A alleles and an Alu dimorphism near HLA-G. *J Mol Evol.* 53 : 114-123, 2001.
 18. Tsuda TT, Tsuda M, Naruse T, kaata H, Ando A, Shiina T, Fukuda M, Kurita M, KeMaho I, Kuliski JK, Inoko H : Phylogenetic analysis of penguin (Spheniscidae) species based on seunce variation in MHC class II gene. *Immunogenetics* 53 : 712-716, 2001.
 19. Taniguchi Y, Sato M, Tanaka O, Sekiguchi M, InokoH, Kimura M : HOXD3 regulates expression of JAGGED1, a ligand for Notch receptors. *Nuclei Acds Reserach Supplement No. 1* : 43-44, 2001.
 20. Taniuchi Y, Suzuki H, Ohtsuka M, Kikuchi N, Kimura M, Inoko H : Isolation and characteriation of three gemnes paralogus to mouse Ring3. *Nuclei Acds Reserach Supplement No. 1* : 247-248, 2001.
 21. Seki SS, Sugimura K, Ota M, Matsuzawa J, Katsuyama Y, Ishizuka K, Mochizuki T, Suzuki K, Yomeyama Y, Mizuki N, Honma T, Inoko H, Asakura H : A stratification analysis of MICA triplet repeat polymorphisms and HLA-antigens associated with ulcertive colitis. *Tissue Antigens* 58 : 71-76, 2001.
 22. Sano K, Yabuki Y, Imagawa Y, Shiina T, Mizuku N, Ohno S, KulskinJK, Inoko H : The absence of disease-specific polymorphisms within the HLA-B51 gene that is thesusceptible locus for Behcet's disease. *Tissue Antigens* 58 : 77-82, 2001.
 23. Romphruk, AV, Naruse TK, Romphruk A, Kawata T, Pauapairoj, Kulski JK, Leelayuwat, Inoko H : Diversity of MICA (PERB11. 1) and HLA haplotypes in Northeastern Thais. *Tissue Antigens* 58 : 83-89.
 24. Mizuki N, Ota M, Katsuyama Y, Yabuki K, Ando H, Shiina T, Nomura E, Onari K, Ohno S, Inoko H. : HLA-B*51 allele analysis by the PCR-SBT method and a strong association of HLA-B*5101 with Japanese patients with Behcet's disease. *Tissue Antigens* 58 : 181-184, 2001.
 25. Kulski JK, Dunn DS, Gaudieri S, Shiina T, Inoko H : Genomic and phylogenic analysis of the human CD1 and HLA class I multicopy genes. *J Mol Evol* 53 : 642-650, 2001.
 26. Ishikawa Y, Kashiwase K, Okai M, Ogawa A, Akaza T, Morishima Y, Inoko H, Sasazuki T, Kodera Y, Juji T. : Polymorphisms in the coding region of mtDNA and effects on clinical outcome of unrelated bone marrow transplantation. *Bone Marrow Transplant.* 28 : 603-607, 2001.
 27. Niizeki H, Naruse T, Hecker KH, Taylor JR, Kurimoto I, Shimizu T, Yamasaki Y, Inoko H, Streilein JW : Polymorphisms in the tumor necrosis factor (TNF) genes are associated with suseptibility to effects of ultraviolet-B radiation on induction of contact